

エグゼクティブ サマリー

過去数十年なかった規模で交通インフラを大幅に改善し、シドニーをより良い生活・仕事・ビジネス・訪問の場にしていくため、NSW 政府は大規模な投資をおこなっています。

シティの道路をより効率的に活用する、南東部からのアクセスを容易にする、そして北部・西部・南西部への乗り換えを容易にするための主要プロジェクトが現在進行しています。

この数十年において最大規模となる今回の CBD 再開発には民間と NSW 政府の両方から 130 億ドル以上が投資されています。これはシドニーがオーストラリアのグローバルシティとしての地位を確立していくうえで数十年に一度のチャンスといえます。

CBD and South East Light Rail プロジェクトにより、サーキュラーキーやセントラル駅からキングスフォードやランドウィックへ通じる、輸送力と信頼性の高いライトレールの路線が設置されます。また、ウィンヤードとタウンホールの間には歩行者専用ゾーンが設置されます。

ライトレールの路線設置はバス路線網の再編と合わせておこなわれています。バス路線網の再編によって朝の混雑時に CBD の道路から最大 220 台のバスを減らし渋滞を軽減させます。

タウンホール・ウィンヤード・セントラル・サーキュラーキー・ミュージアム・マーティンプレイスに設置される新たな乗り換えターミナルに加え、ウィンヤード・タウンホール・ミュージアム駅の改修によりアクセスや利便性が向上し混雑が軽減されます。

ウィンヤードウォーク (Wynyard Walk) はウィンヤード駅とバラングルーを結ぶ歩行者専用通路で、6分で渡ることができ、障害のある方や高齢者にも利用が可能になっています。バラングルーフェリーターミナルは、シドニーで最も新しいこの商業地域の住民、仕事に来る人や旅行者等、多くの人々に利用されるようになります。

CBD を網羅する自転車専用レーンによりサイクリストや歩行者の安全が向上し、同時にサイクリストが専用レーンを使用するよう促すことで他の道路使用者がより円滑に通行できるようになります。

CBD の外側については、ウエストコネックスにより西部や南西部からのシティや空港へのアクセスを容易にし、パラマタロード沿いの地域社会や住民が再びパラマタロードを円滑に使用できるようにします。一方、ノースコネックスにより M1 と M2 の間のペナントヒルズロードから、一日に通行するトラックの数を千台単位で大きく減らします。

最も大きな変化をもたらすプロジェクトはシドニーメトロ、そしてシドニー港の下を通るその新路線といえるでしょう。新路線は CBD の地下に新たに設置される4つの駅と接続し、最終的には両方向に向かいシティの下を2分ごとに運行するようになります。

こうしたプロジェクトの進行中はシティや周辺部において運行状況が変更になる場合があります。工事期間中は事前に運行状況を確認し予定を立て、十分な時間の余裕を持つようにしてください。

予定を立てる、運行状況を確認する際は <http://www.transportnsw.info/> をご覧ください。